

「松原市図書館適正配置等検討委員会 答申」の概要

●松原市民図書館の現状と課題

(1)現状

- ①4 キロ四方の市域に比較的小規模な図書館が 8 館配置
(当初は身近な図書館としてのメリットが見込まれた)
- ②大半の施設は公民館や老人センターとの複合施設であり、築 30 年程度経過している
- ③貸出冊数の伸び悩み(館数の多さが貸出冊数の増につながっていない)
- ④直営で運営

(2)課題

- ①蔵書の分散と中央館機能の不十分さ
 - ・50 万冊の蔵書のスケールメリットが活かしていない
 - ・各館の規模が小さく、スペースが不十分
 - ・松原図書館に中央館として求められる機能と規模が不十分
- ②施設の老朽化
 - ・各施設の維持補修に、今後、負担増が予測される
 - ・スペースの確保やバリアフリー化が困難
- ③市民ニーズへの的確な対応
 - ・IT 化(インターネット予約など)の推進
 - ・プラネタリウムの必要性の検討
- ④貸出冊数、来館者増加の取組の必要性
 - ・開館時間等の見直し
 - ・効果的な管理運営方法の検討

●これからの松原市民図書館に求められるもの

(1) 中央館機能の充実

①ハード面の充実

蔵書の集約、自習・閲覧スペースの拡大、IT化推進、バリアフリー化、
市民協働の活動拠点整備、駐車場等の確保

②ソフト面の充実

子どもの読書活動推進、インターネット予約の実現、開館時間の延長、
障害者サービス事業の充実、積極的な情報発信、郷土資料の充実、
国際化への対応

③快適性・社会性余暇の演出

わかりやすい書架配置、利用者への心遣い、ゆったりと滞在できる空間づくり、
飲食可能なスペース、体験学習型のイベント、「図書館らしい見せ場」の演出など

これらの実現には松原図書館の大規模な増改築や新たな中央館建設といった抜本的な方策が必要

(2) 中央館以外に求められるサービス

①公民館などとの併設施設については機能の充実や新たな市民ニーズに対応する利活用を図る。

〈委員からの意見抜粋〉

- ・老人センターとの併設施設については、高齢者が集まりやすい機能を付加する。
- ・子育て支援センターとの併設施設については、子育て支援機能を強化する。
- ・松原南図書館は、竹ノ内街道に隣接しており、歴史に関する機能を付加する。

(このような観点でハード面、ソフト面を含め考える。)

②返却ポスト、インターネット予約端末の設置や、予約本の受取りができるようなサービスポイントとしての機能の充実

③おはなし会などの地域の活動や、憩いの場としての空間として提供

④学校や幼稚園等との連携強化、学校図書室の活性化を図り、幼い頃から本に慣れ親しめる環境の整備

(3) 管理運営体制の検討

生涯学習の推進と市民サービスの向上を進める上で、長期的な視点に立って松原市の図書館、引いては松原市の生涯学習をどのように進めていくのか総合的に判断して直営、業務委託、指定管理者制度の導入について検討を。

これまでの分散型の運営から中央館に軸を置いた集中型の運営とし、読書環境の向上やIT化の推進、サービスポイントとしての機能の充実など、新たな市民サービスに対応した「図書館サービス」の実現をめざす。